

NEWS RELEASE

デジタルガレージグループ、web3 領域の社会実装を本格始動 ～次世代テクノロジーを中核とした「web3 戦略設計タスクフォース」を設立～

株式会社デジタルガレージ（東証プライム 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁 以下：DG）を中心とする DG グループは、共同創業者 取締役 兼 専務執行役員 Chief Architect の伊藤穰一と、web3 領域の社会実装を目指し、国内外のスタートアップや戦略パートナーと連携しながら、web3 領域の技術を活用したサービス開発を推進する「web3 戦略設計タスクフォース」を新たに設立しました。DG は、日本の IP と次世代テクノロジーをハイブリッド化した日本発グローバルスタンダードの web3 ビジネスモデルの確立を目指します。

Web1.0、Web2.0 の時代、DG グループはインターネットの発展に伴走してきました。日本で最初の個人ホームページの開設、カカコムとの食べログ事業開発、そして Twitter のジャパンエントリーの支援など、デジタル技術の進化に併せて様々なサービスを展開してきました。

DG は、web3 の時代においても、Web1.0、Web2.0 の時代と同様に、新たなコンテキストを創り出し、グローバルインターネットの発展に貢献していきます。まずは、グループを横断する「web3 戦略設計タスクフォース」を設立し、以下 3 領域で web3 プロジェクトを推進していきます。

- ① NFT、メタバースの企業活動におけるコンサル、プロジェクト設計の実施
 - DG グループアセットの決済×マーケティング×投資インキュベーション×メディアを駆使し、最新テクノロジーの社会実装を実践的に支援
- ② すでに 10 年以上の実績のある Open Network Lab を通じた支援
 - 伊藤穰一に加え、世界を代表する web3 のエキスパートをメンターに迎える予定
- ③ 世界的な web3 のビジネスプレイヤーの参画による、戦略的な web3 ファンドの設計を予定
 - ※詳細は固まり次第、別途発表させていただきます。

「DG は Web1.0、Web2.0、そして今回の web3 のインターネットの波打ち際を駆け抜けてきました。今回の波は、アプリケーションからインフラ側に近いプロトコルレイヤーで、企業活動やマーケティングの形もこれらのテクノロジーに合わせて変容しつつあります。また、IP 大国でもある日本では様々な可能性を持っており、グループをあげて、社会実装をサポートしていきます。」
(DG 代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO 林郁)

「日本に帰国後、web3 のビジネス、カルチャー、テクノロジーに熱中し、メディアや勉強会でその学びを広くシェアしています。web3 は、日本の未来にとつともなく大きなインパクトを与えていると感じています。「web3 戦略設計タスクフォース」と一緒に、web3 時代のビジネスとテクノロジーのアーキテクチャーを構築するお手伝いができることを楽しみにしています。」(DG 共同創業者 取締役 兼 専務執行役員 Chief Architect 伊藤穰一)

DG は、インターネットの新しい流れである web3 のテクノロジーを見据えて、【既存事業を守りながら成長を続ける領域/オペレーション型】と新たなインターネットの進化と呼応した【攻める領域/プロジェクト型】の〈両利きの経営〉のアーキテクチャーをデザインします。そして、政府やパートナー企業と連携しながら、web3 技術を活用した新しいサービスをテクノロジーで正しく社会実装し、持続可能な社会の構築へ貢献していきます。